

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	1	土木総務費	1億4,567万5	1億4,281万0	300~303
<b>【道路課】</b>						
<b>○土木建築人材育成事業 13万6千円</b>						
定住対策として、土木建築関係の資格取得者に対し受験料の支援を行い、人材育成、人口流出の抑制を図った。						
<p>■実績 8件 支給額 13万6千円</p> <p>■内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築士 1件</li> <li>・ 土木施工管理技士 3件</li> <li>・ 管工事施工管理技士 0件</li> <li>・ 造園施工管理技士 0件</li> <li>・ 建設機械施工管理技士 1件</li> <li>・ 建築施工管理技士 2件</li> <li>・ 電気工事施工管理技士 1件</li> </ul>						

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	2	建築指導費	935万0	620万9	302~305
<b>【都市整備課】</b>						
<b>○建築指導（建築確認申請等） 620万9千円</b>						
都市計画区域内の小規模な建築物を対象に、建築基準法に定める建築確認及び完了検査、ミニ開発に伴う道路位置指定等の建築行政及び建設リサイクル法による解体の届出、長期優良住宅の認定を実施した。						
また、市有施設（公営住宅、防災施設等）の新築及び改修等に関する設計及び監理を実施した。						
<b>○建築確認等業務（歳入） 285万3千円</b>						
			申請件数	申請手数料		
・ 建築確認申請			81件（内、通知1件）	137万6千円		
・ 工作物確認申請			2件	2万2千円		
・ 計画変更申請			6件	4万2千円		
・ 完了検査申請			58件（内、通知1件）	120万3千円		
・ 工作物完了検査申請			1件	1万2千円		
小計①			148件	265万5千円		

・道路位置指定	3件	15万0千円
・長期優良住宅認定申請	8件	4万8千円
小計②	11件	19万8千円
<u>総計 (①+②)</u>	<u>159件</u>	<u>285万3千円</u>

< 建築確認申請における現場審査の様子 >



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	1	道路橋りょう総務費	3,485万6	2,955万6	306~309
<b>【道路課】</b>						
道路拡幅等により寄附を受けた土地の登記等を行った。						
・委託 分筆図作成公共嘱託登記業務委託料				23件	1,107万4千円	
道路台帳加除修正業務委託料				1件	415万4千円	

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	2	道路維持費	8,625万3	8,102万1	308~311

### 【道路課】

道路の維持管理のため、下記のとおり実施した。

#### ・修繕 (単独)

工種	件数	支出額
側溝	85件	1,256万3千円
舗装	65件	1,345万0千円
路肩	52件	1,399万3千円
倒木撤去等	28件	363万5千円
計	230件	4,364万1千円

・委託 除草・樹木管理業務委託料 3件 671万1千円

#### ・道路工事 (単独)

工種	件数	事業量	支出額
舗装補修維持	4件	A = 1,422 m <sup>2</sup>	727万5千円
側溝補修維持	4件	L = 211m	677万2千円
路肩補修維持	2件	L = 209m	264万4千円
計	10件		1,669万1千円

#### ・原材料費 (単独)

種別	支出額
補修用材料費	156万1千円

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	3	道路新設改良費(単独)	2億2,537万1	7,061万6	310~313

**【道路課】**

道路の改良整備について、下記のとおり実施した。

- ・道路工事(単独)

工種	件数	事業量	支出額
改良工事	11件	L=757.9m	5,013万7千円
舗装工事	5件	A=3,638 m <sup>2</sup>	1,694万5千円
計	16件		6,708万2千円

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	4	道路新設改良費(補助)	1,300万4	1,300万4	312~313

**【道路課】**

道路ストック総点検の結果、下記のとおり実施した。

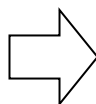
- ・社会資本整備総合交付金(補助)

路線名	工種	事業量	支出額
道路附属物(道路照明施設) 修繕工事	修繕工事	道路照明灯12基	1,300万4千円

【修繕前】



【修繕後】



款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	5	橋りょう新設改良費	4,607万6	4,516万6	312~315

**【道路課】**

○社会資本整備総合交付金（補助） 4,516万6千円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょう補修の為の調査設計を行った。

- ・調査及び設計業務委託料 950万2千円（湯江川橋、川原橋）

道路橋定期点検要領（平成26年6月国土交通省道路局）に従い変状等の異常を把握するための点検を実施し効率的な道路管理行政を行うための基礎資料を作成した。

- ・橋りょう定期点検業務委託料 3,508万1千円（131橋）



点検作業中



点検作業中

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	6	交通安全施設等整備事業費	1,359万6	1,359万6	314~315

**【道路課】**

交通安全対策のため、施設の整備及び維持補修を下記のとおり実施した。

・修繕(単独)

工種	件数	支出額
道路照明灯	30件	208万5千円
道路反射鏡	8件	79万1千円
防護柵	10件	126万8千円
区画線等	5件	139万2千円
標識	1件	5万0千円
計	54件	558万6千円

**【道路反射鏡】  
設置後**



・工事(単独)

工種	件数	支出額
区画線等設置	2件	644万6千円
道路反射鏡設置	1件	116万4千円
計	3件	761万0千円

**【区画線】  
設置前**



**設置後**



・原材料費(単独)

種別	支出額
交通安全補修用材料費	33万1千円



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	3	1	河川整備事業費	3,559万0	1,752万2	314~317

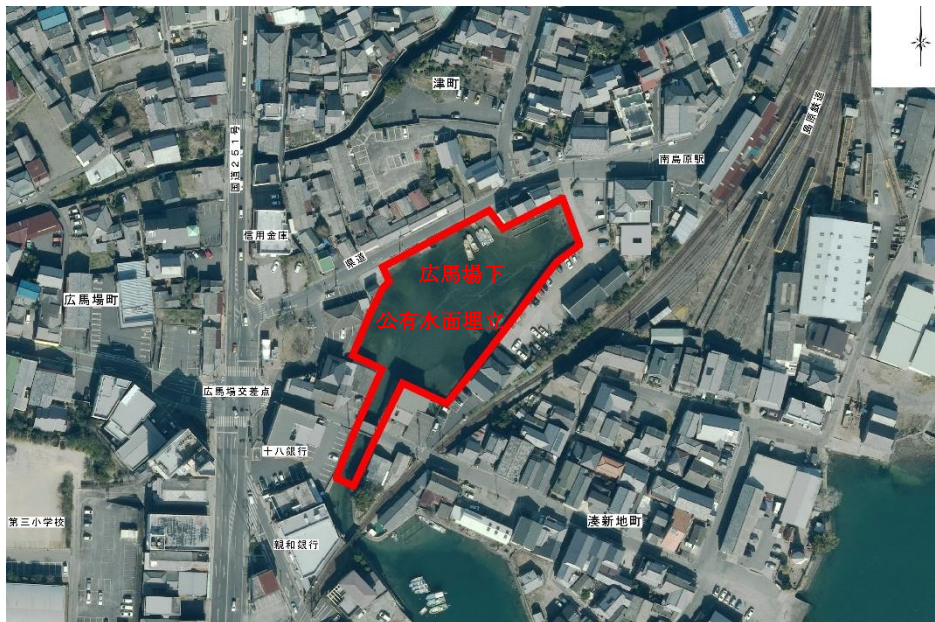
**【都市整備課】**

**○広馬場下公有水面埋立事業費 1,199万円**

船津地区の高潮浸水被害を防止し地域住民の人命と財産を守るため、広馬場交差点から南島原駅へ向かう途中の船溜まり約4,500㎡を埋め立てる計画である。

また、埋立後の利活用方法は、船津地区の防災機能の強化を図るため、一次避難場所としての役割をもつ防災広場などの防災施設を整備するとともに、平常時は市民の健康増進の場所やイベント開催場所として利用できる多目的広場を計画している。

- ・ 測量調査 A=17,428㎡ (地形測量)
- ・ 地質調査 n=6箇所
- ・ 排水計画 L=371m (排水路延長)



平成 24 年 9 月 17 日 台風 16 号 (床上浸水 74 戸 床下浸水 182 戸)

**【道路課】**

河川（排水）整備のため、下記のとおり実施した。

## • 修繕（単独）

工 種	件 数	支出額
排水路(水路)修繕	14 件	469 万 2 千円

## • 新田潮調整地浚渫業務委託料 74 万円

## • 広馬場下公有水面埋立事業費 1,199 万円

• 測量業務委託料 283 万 9 千円

• 公有水面埋立調査設計業務委託料 915 万 1 千円



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	4	1	港湾管理費	1億7,089万7	6,002万5	316~319

**【道路課】**

○港湾管理経費 3,817万7千円

島原港ターミナルビル維持管理費 等



<島原市の海の玄関口 島原港ターミナルビル>

○港湾整備事業負担金 2,184万8千円

港湾整備事業について下記のとおり負担した。

事業名	箇所	事業費	地元負担金
島原港 地方港湾海岸自然災害防止事業	内港・霊南地区	3,904万0千円	273万3千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾改修・防災安全対策)	三会地区	511万0千円	76万6千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	三会地区	1,230万3千円	205万1千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	内港・霊南地区	2,202万0千円	367万0千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	内港・霊南地区	791万1千円	131万9千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	三会地区	2,490万0千円	415万0千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	内港・霊南地区	8,100万0千円	298万5千円
その他 海岸自然災害防止事業	内港・霊南地区	2,806万9千円	196万5千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (平成27年度繰越金)	内港・霊南地区	1,325万7千円	220万9千円
計		2億3,361万0千円	2,184万8千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	1	都市計画総務費	1億1,463万6	1億1,174万8	318~323

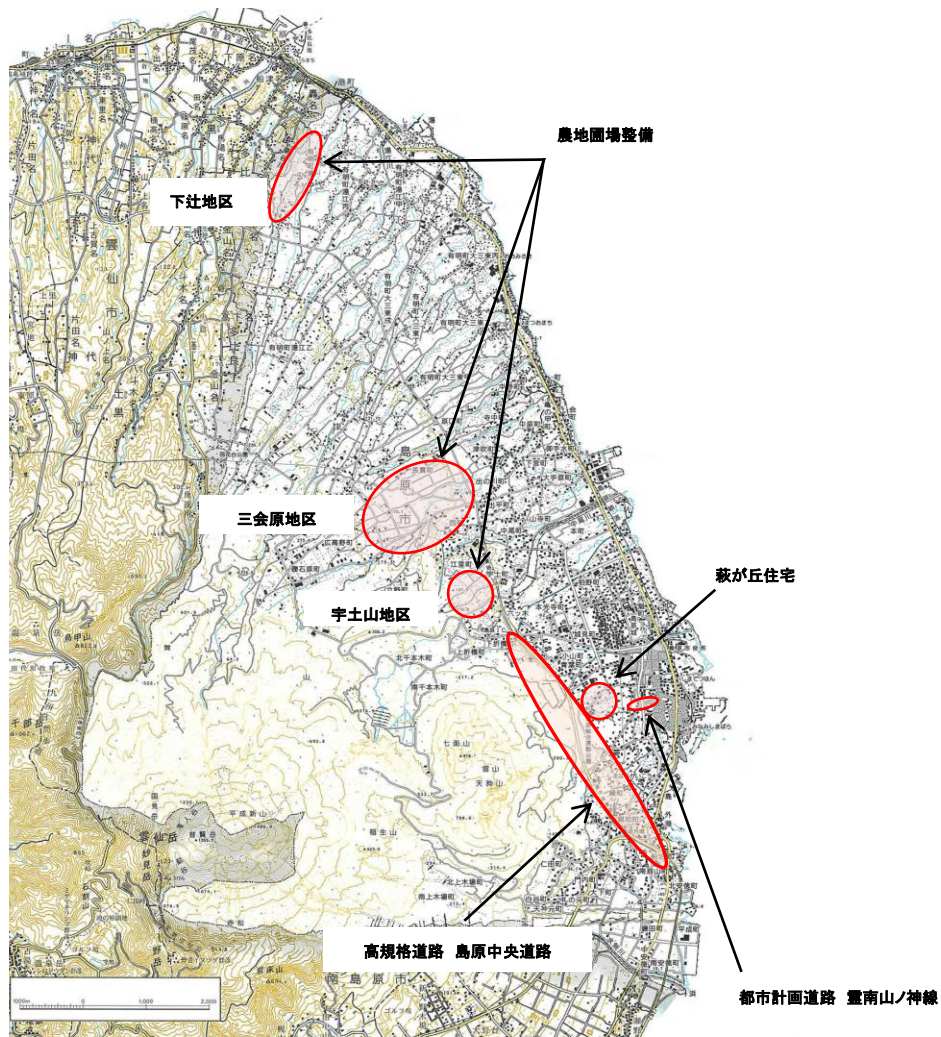
**【都市整備課】**

○市街図修正業務委託 1,504万6千円

平成18年に作成した市街図も10年を経過する中で、高規格道路や都市計画道路、萩が丘住宅、三会原・宇土山・下辻地区の圃場整備などの事業が完成し、土地、家屋の状況も変化しており、現状とのかい離が著しい箇所が増えてきたため市街図データの更新を行った。

完成した市街図は、全庁的な各種台帳管理、調査、計画策定業務等へ利用する。

- ・島原市全図 (1/50,000・1/25,000・1/15,000) 更新
- ・島原市街図 (白地図：全36図郭 1/2,500) 更新
- ・都市計画総括図 (1/15,000) 更新
- ・都市計画街路図 (1/10,000) 更新
- ・地図情報システムデータ更新



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	2	公園費	7,481万1	7,038万1	322～331

**【都市整備課】**

**○県営事業負担金 455万4千円**

百花台公園整備事業の事業負担金を支払った。

- ・百花台公園整備事業（事業費 138,000,000円 植栽、ベンチウォール、四阿、パーゴラ等）  
島原市負担率 事業費×5%×66%





## 【道路課】

### ○ウォーキング・ランニングコース整備事業 850万8千円

雲仙岳砂防指定地内の利活用及び地域住民の健康増進、地域経済の活性化を図るため、平成24年度から水無川導流堤内に整備してきたウォーキング・ランニングコースについて、未整備区間458mの整備及び案内板等を設置し、総延長約2,760m（1周約2,700m）のコースが完成した。

（平成24年度から28年度までの5か年事業）

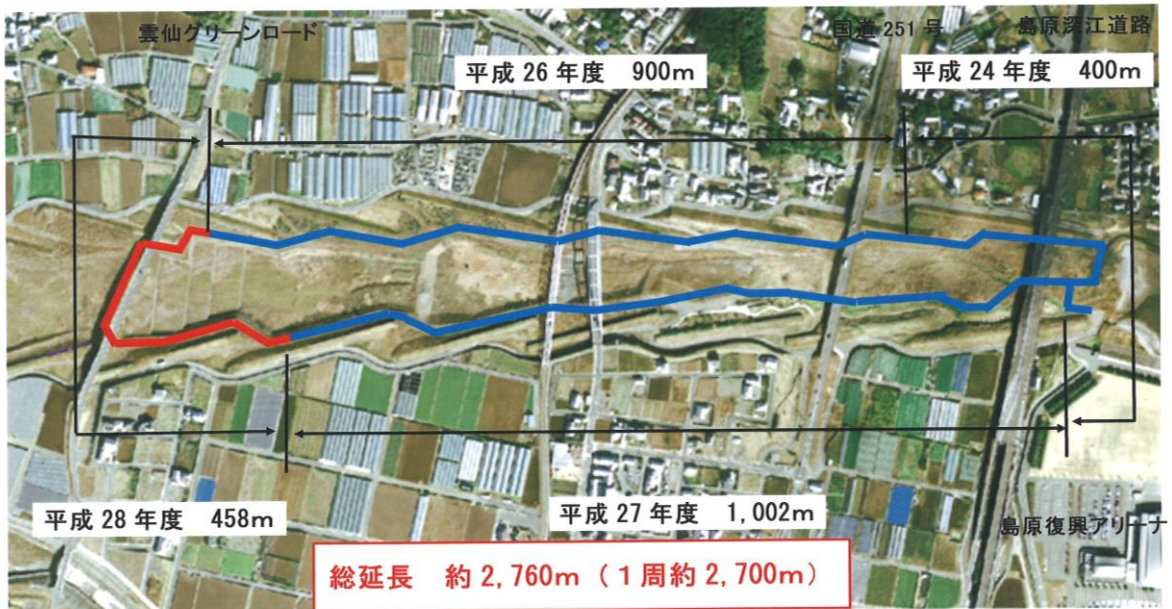


<平成28年度整備区間>



<案内板・注意喚起看板>

### ウォーキング・ランニングコース整備事業



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	3	街路整備事業費	2億6,678万1	2億1,869万1	330~333

**【都市整備課】**

○**霊南山ノ神線整備事業 1億7,787万4千円**

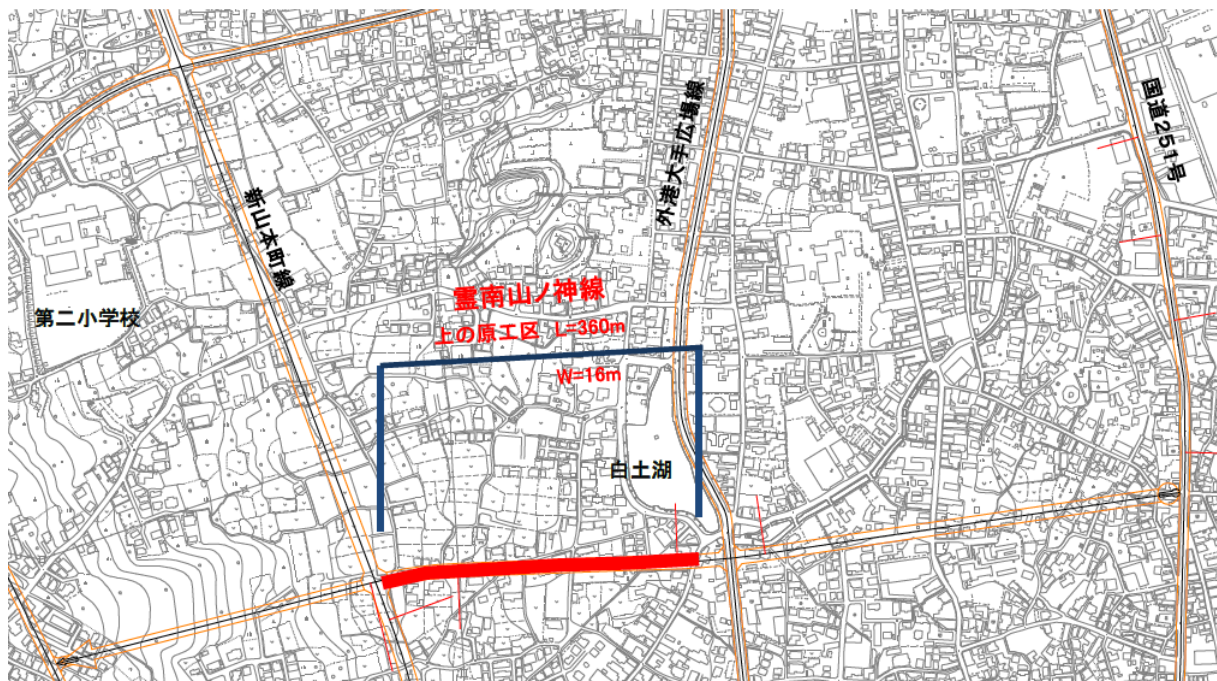
国道 251 号（蛭子町一丁目）から島原郵便局、白土湖を經由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と地域住民の利便性の向上及び地域の活性化を図るため整備する。

上の原工区（約 L=360m）の整備に先立ち、建物等調査等の業務委託、用地取得、建物等の補償を行った。

- ・建物等調査業務委託 5 棟
- ・公共嘱託登記業務委託 14 筆
- ・用地取得 18 筆(1,818.82 m<sup>2</sup>)
- ・建物等補償 6 棟



市道外港大手広場線交差点から山手方向を撮影





### ○親和町湊広場線整備事業 515万1千円

国道57号（親和町）から島原外港IC、ひょうたん池公園、島原病院入口を經由し国道251号（白山町）を結ぶ、都市計画道路であり、島原病院へのアクセス道路としての役割を担い、地域住民の利便性の向上と沿線の良好な市街地形成を図るため整備する。

親和町の市道新湊大下線（ひょうたん池公園入口）から都市計画道路安徳新山線との交差点までの約490m区間の事業化に向けて、道路詳細設計及び、用地面積計算と測量図の作成業務委託を行った。

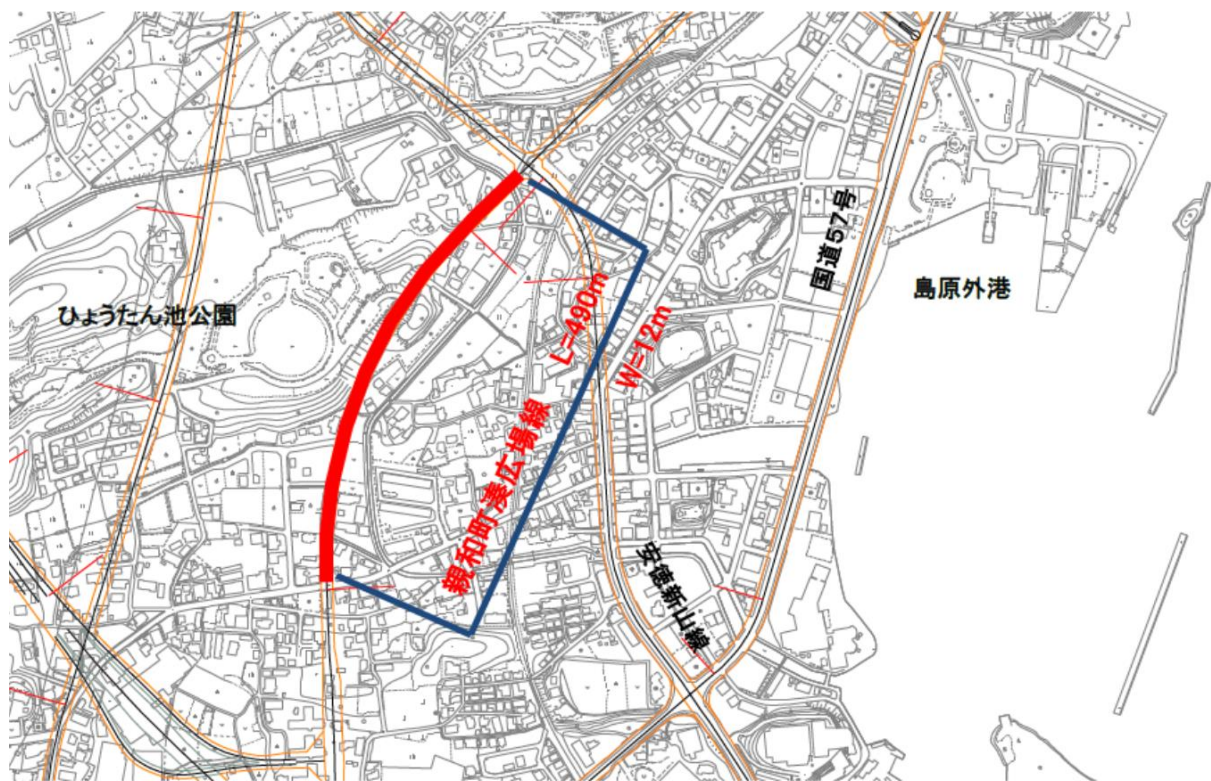
- ・道路詳細設計業務委託 L=490m
- ・用地面積計算と測量図作成 33筆



島原外港ICから北側を撮影



現況幅員狭小市道（南下川尻町）



○安徳新山線整備事業 446万5千円

国道 251 号水無川橋から国道 57 号交差点を經由し、都市計画道路新山本町線へ接続する都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び沿線地域の良好な市街地形成を図るため整備する。

南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路親和町湊広場線との交差点までの約 320m 区間の整備の事業化に向けて、道路詳細設計及び、用地面積計算と測量図の作成業務委託を行った。

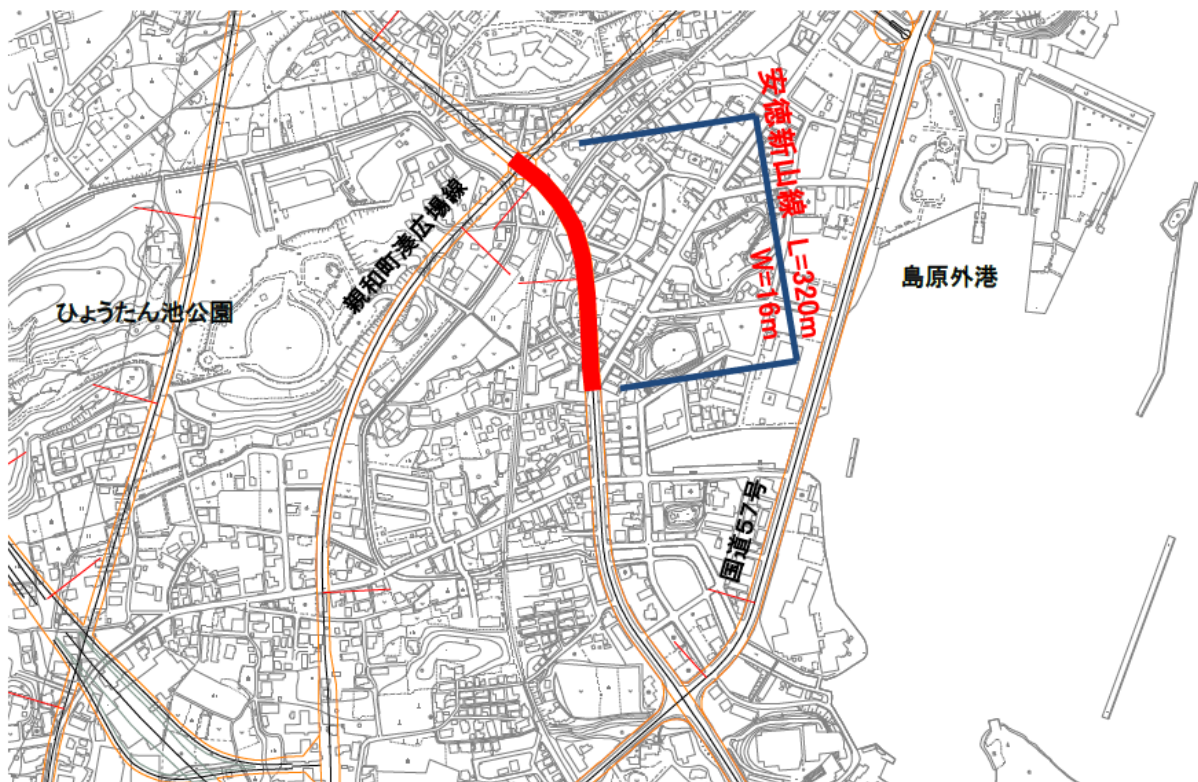
- ・道路詳細設計業務委託 L=320m
- ・用地面積計算と測量図作成 6筆



市道湊町新湊線（南下川尻町）付近



現況幅員狭小市道（南下川尻町）





○**県営事業負担金（新山本町線整備事業）** 3,120万2千円

都市計画道路安德新山線から第二中学校を經由し、県道野田島原線を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び通学路の安全を図るため整備する。

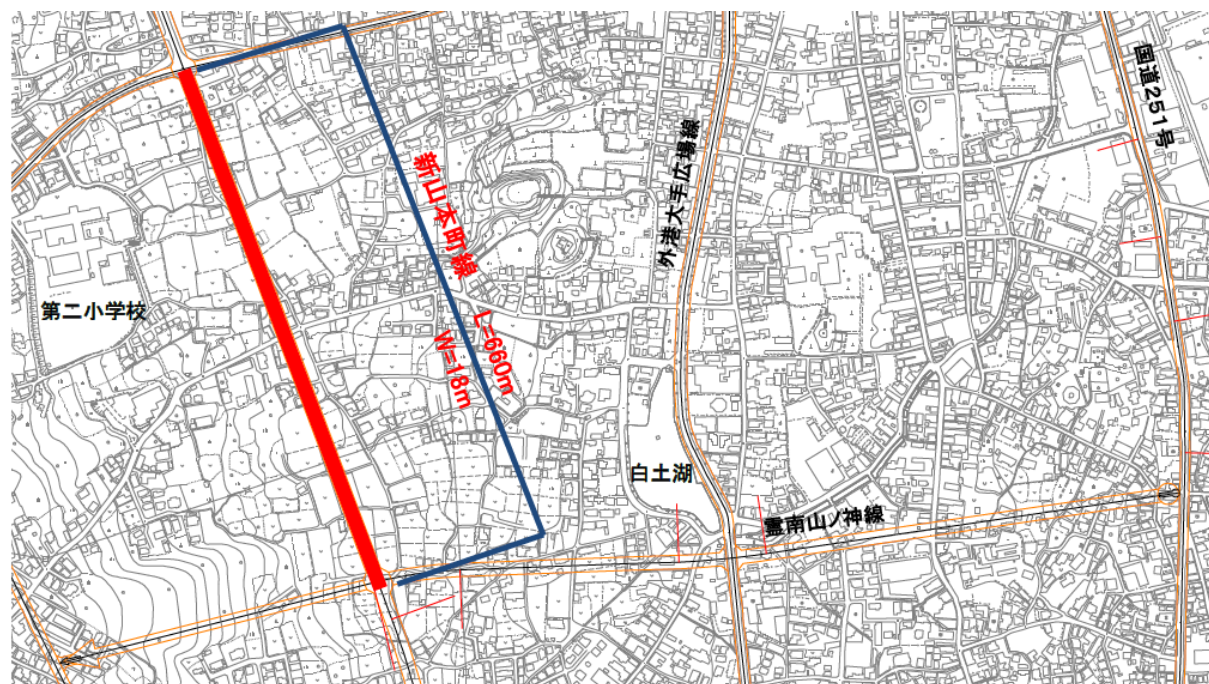
霊南山ノ神線との交差点から市道高島丁椿原線との交差点までの約660m区間を、長崎県が実施した事業費に対する地元負担金である。



市道高島丁椿原線交差点（萩が丘二丁目）付近



現況幅員狭小市道（上の原三丁目）



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	4	都市下水路費	1,496万1	1,493万4	332~333

**【都市整備課】**

○排水ポンプ点検等業務委託 44万円

排水対策として島原市新田町の水門に設置した大型排水ポンプ1台及び移動式排水ポンプ3台の保守点検等を行った。



(海側) 排水状況



(潮遊び側) 大型排水ポンプ

○都市下水路清掃業務委託 210万6千円

音無川都市下水路の河床に繁茂した藻により流水が阻害され、また、空き缶、浮遊ゴミが滞留し景観を損なっているため藻の除去及び清掃を行った。(写真はNTT前付近)



清掃前



清掃後

○晴雲団地都市下水路改修工事 1,156万2千円

晴雲団地都市下水路は、昭和36年から施設が建設され50年以上が経過しており、老朽化が著しい箇所から、年次計画で補強補修等を行い施設の長寿命化を図るものである。

晴雲寺の東南の角から南側へ約68mの区間(本町・城西中の丁線 埋設)において、頂版取替など劣化状況に応じた改修工事を行った。



都市下水路内の劣化状況



鉄筋露出腐食状況



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	1	住宅管理費	8,561万1	8,262万0	334~337

**【都市整備課】**

**○公営住宅管理費 8,262万円**

市営住宅 961 戸の適切な入退去と維持管理に努めた。

・住宅使用料 (歳入) 2億1,428万7千円

・市営住宅一覧

柏野住宅	110戸	下宮第1団地	24戸
桜馬場住宅	44戸	下宮第2団地	20戸
霊南住宅	24戸	新山団地	36戸
坂上住宅	6戸	稗田団地	28戸
梅園団地	182戸	杉山団地	12戸
津吹団地	23戸	魚見第1団地	78戸
秩父が浦住宅	16戸	湯江団地	20戸
花の丘団地	104戸	大三東団地	12戸
宮の町住宅	10戸	萩が丘住宅	202戸
仁田住宅	10戸	計	961戸

**【主な維持管理経費】**

・湯江団地他生垣植替え工事 2団地 314万3千円

●事業内容

湯江団地及び大三東団地において、各住戸の生垣の植栽が枯れており、防犯面及び景観面でも改善が必要であったため植替え工事を実施し団地の長寿命化を図った。

●完成写真

大三東団地 (延長 L=171m、H=1.7m)



湯江団地 (延長 L=175m、H=1.7m)





・梅園団地流し台・換気扇設備改修工事 18戸 290万5千円

●事業内容

梅園団地81棟（全18戸）において、建設から35年を経過したことによる設備機器の老朽化に伴い、流し台・換気扇の取替を実施し居住性の維持を図った。

●完成写真

流し台



換気扇



・エレベーター保守点検業務委託料	1団地6基	406万9千円
・公共嘱託登記委託料	1団地	249万8千円
・市営住宅土地借上料	5団地	2,095万8千円
・修繕料	402件	1,850万0千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	2	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費	275万8	269万5	336～337

**【都市整備課】**

**○高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 269万5千円**

長崎県高齢者向け優良賃貸住宅供給計画の認定を受け建設された「生き生き横丁」へ、市が管理する住戸（12戸）入居者に係る契約家賃と入居者負担額の差額に対して家賃減額補助を行った。

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	3	耐震・安心住まいづくり支援事業費	2,318万2	1,628万9	338～339

### 【都市整備課】

#### 耐震・安心住まいづくり支援事業費 1,628万9千円

住宅や特定建築物（店舗・病院等）の耐震化に対する費用の一部の助成を行い、住宅のバリアフリー・安全化、省エネルギー化、防災化及び長寿命化に係るリフォーム費用の一部の助成を行い、支援を行った。

事業の成果としては、島原市内の建築物の耐震化及び性能向上に対して寄与した。

#### ■耐震・安心住まいづくり支援事業 608万3千円

【住宅耐震診断】	9件×3万800円	補助金額	27万7,200円	補助率	2/3以内
【住宅耐震改修計画】	2件×7万円	補助金額	14万円	補助率	2/3以内
【住宅耐震改修工事】	0件×90万円	補助金額	0万円	補助率	3/4以内
【大規模建築物耐震診断】	1件×566.6万円	補助金額	566万6,000円	補助率	2/3以内

##### ◆木造戸建住宅の耐震化



##### ◆建築物の耐震化(ホテル・病院等)



国土交通省パンフレットより

#### ■島原市住宅性能向上リフォーム支援事業 1,020万6千円

- ①バリアフリー・安全型 ②省エネルギー型
- ③防災型工事費の20%（上限額は各10万円）
- ④長寿命型工事費の10%（上限額は10万円）

##### 【件数】

① バリアフリー・安全型	30件
② 省エネルギー型	47件
③ 防災型	11件
④ 長寿命型	25件
計	113件



屋根瓦：断熱塗料リフォーム抜粋

##### 【工事費等】

- ・総工事費 1億2,627万円
- ・補助対象事業費(国費歳入) 210万円 (99万円)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
8	6	4	空き家等 対策事業費	528万0	320万8	338～339

**【都市整備課】**

**○空き家等対策事業費 320万8千円**

安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う方に、その工事費の一部を助成し、支援を行った。

事業の成果として、島原市内の老朽危険空き家による隣家等への倒壊の危険性を低くし、落下・転倒等による第三者への危険を防止することができた。

**■老朽危険空き家除却支援事業 310万円**

<補助率等>

- ・補助率：除却工事費の40%以内
- ・補助限度額：50万円

<支援件数、工事費等>

- ・支援件数：8件
- ・総事業費：950万8千円
- ・国費金額：155万0千円（社会資本整備総合交付金）

<老朽危険空き家の除却状況>



着手前



解体後

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	7	1	下水道費	9,039万6	7,829万0	338～341

**【道路課】**

**○保守管理業務委託 64万7千円**

仁田団地(106世帯)及び船泊団地(49世帯)コミュニティ・プラントの保守点検を実施し、適正な維持管理に努めた。

**○浄化槽設置整備事業 6,778万8千円**

し尿及び生活雑排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽を設置整備する者に対し補助を行った。

区分	設置基数	補助単価	補助金額
5人槽 (単独処理浄化槽撤去)	61基 (0)基	33万2千円 9万0千円	2,025万2千円 0千円
6～7人槽 (単独処理浄化槽撤去)	76基 (0)基	41万4千円 9万0千円	3,146万4千円 0千円
8～50人槽 (単独処理浄化槽撤去)	29基 (2)基	54万8千円 9万0千円	1,589万2千円 18万0千円
計	166基		6,778万8千円

(平成29年3月31日現在)

住民基本台帳人口 ①	汚水処理人口 ②	汚水処理人口 普及率 ②/①	住宅用合併処理 浄化槽処理人口 (コミュニティ・プラント 処理人口除く) ③	浄化槽人口普及率 ③/①
45,991人	19,240人	41.8%	18,796人	40.9%

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	1	常備消防費	5億1,984万0	5億1,067万1	342~343

**【市民安全課】**

**○常備消防負担金 5億1,067万1千円**

島原地域広域市町村圏組合広域消防の消防・救急活動に必要な経費の一部を負担金として支出した。

- ・常備消防費負担金総額 14億7,302万2千円

《構成市と負担割合》

- 島原市 34.7%
- 雲仙市 15.2% (2億2,403万2千円)
- 南島原市 50.1% (7億3,831万9千円)

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	2	非常備消防費	1億159万8	9,689万2	342~345

**【市民安全課】**

**○消防団活動経費 9,689万2千円**

- ・火災が起こりやすい季節（春・秋）には広報活動を行い、火災予防、啓発活動を行った。
- ・総合訓練、各地区訓練、新入団員訓練等を実施し、団員の資質向上に努めた。また、28年度は大三東地区が島原市代表として長崎県消防ポンプ操法大会に出場した。この大会に出場するための2か月半に及ぶ訓練を経て、消防団員の技術力向上はもとより、士気高揚と団結強化が図られた。
- ・小学校や自主防災会、福祉施設等と消火・避難訓練を行い、地域防災体制の強化を図った。

(活動経費内訳)

- ・団員報酬 1,993万5千円
- ・出勤報酬 3,737万8千円
- ・非常備消防経費 3,957万9千円

分団別人員			
分団名	定員	分団名	定員
本部	24	第13分団	30
第1分団	20	第14分団	20
第2分団	30	第15分団	20
第3分団	30	第16分団	20
第4分団	30	第17分団	35
第5分団	30	第18分団	25
第6分団	30	第19分団	30
第7分団	20	第20分団	30
第8分団	20	第21分団	30
第9分団	20	第22分団	25
第10分団	20	第23分団	30
第11分団	20	第24分団	20
第12分団	30	合計	639



年末警戒



長崎県消防ポンプ操法大会



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	3	消防施設費	3,264万9	2,358万7	344～345

**【市民安全課】**

**○消防施設整備事業費 2,358万7千円**

広域消防及び島原市消防団の消防活動に必要な施設整備や機材・車両を購入した。

(主な施設・機材等)

区 分	数 量	金 額
詰所・格納庫新築工事	1か所 (第2分団)	1,536万4千円
小型ポンプ更新	1台 (第20分団)	164万6千円
消火栓 新設工事	6基	476万2千円
〃 布設替え等工事	9基	



第2分団詰所・格納庫



第20分団小型ポンプ

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	4	災害対策費	4,639万1	4,277万7	344～349

**【市民安全課】**

**○防災避難訓練 12万4千円**

有明海を震源とするM7規模の地震が発生し、震度6弱を想定した避難訓練を行った。

- ・訓練対象地区 三会・杉谷地区 (11月13日実施)
- ・想 定 有明海を震源とした地震に伴う津波被害及び地震による火災被害
- ・参加者 関係機関を含め747人

**○島原市防災避難マップ作成 86万5千円**

市内において万一災害が発生した場合、または発生するおそれがある場合の避難所を見直したことに伴い防災マップを作成した。



【全体マップ】



【地区：拡大版】

### ○地域防災マップ作成 19万7千円

市と地域住民で防災マップ作成作業を行い、危険箇所や要支援者の場所等を再確認してもらうことが出来た。また、最終的に各町内会独自の地域防災マップと、それらを統合した総合防災マップを作成し、地域住民並びに関係機関へ配付した。

- ・参加町内会 3町内会
- ・町内会・自治会用防災マップ 510部
- ・町内会・自治会用防災マップ拡大版 45部